JSTQB認定テスト技術者資格試験 Advanced Level過去出題問題 解説セミナー

May 22, 2017 JSTQB Technical Committee委員 町田欣史





本日のセミナーの流れ

- 1. Advanced Level試験の概要 10分
- 2. Advanced Level試験(テストアナリスト)の過去試験問題解説 50分
- 3. Advanced Level試験(テストマネージャ)の過去試験問題解説 50分
- 4. アンケート記入・提出

配布資料

- ・テスト技術者資格Advanced Level認定試験 過去問題解説セミナー資料
- ・ JSTQB認定テスト技術者資格試験 Advanced Level過去出題問題解説セミナー アンケート
- ・ 日科技連からのご案内 ※複数あり

注意事項

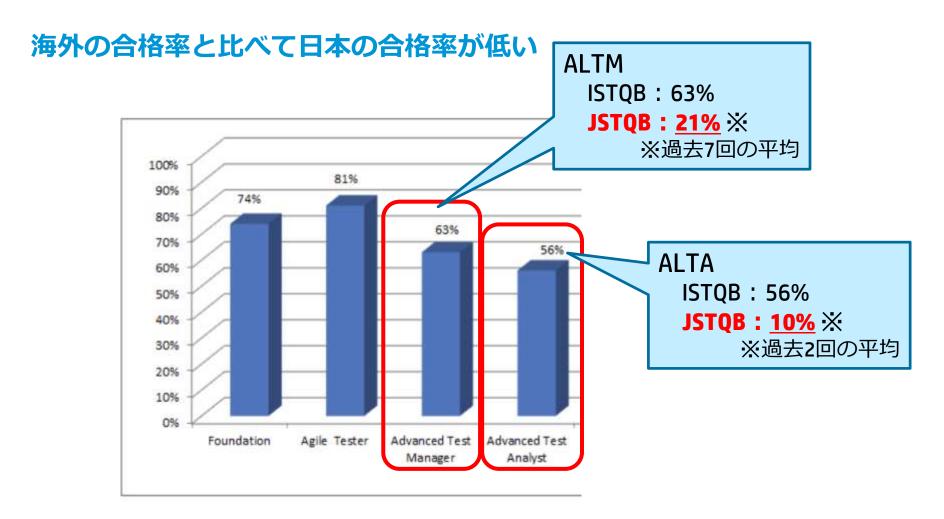
- ・ 本日のセミナーを撮影した動画、および投影資料は、後日Webサイトに 公開します。
- ・ 本日のセミナー中にいただいた質問、およびアンケートにご記入いただい た質問については、公式な回答を後日Webサイトに掲載します。

Agenda

- 1. セミナー開催の理由
- 2. Advanced Level試験とは
- 3. 日本におけるAdvanced Level試験の実情
- 4. 過去出題問題の解説について

1. セミナー開催の理由

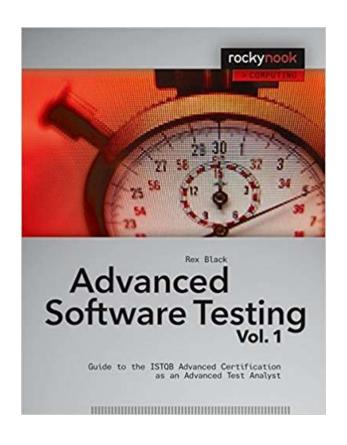
1. セミナー開催の理由①

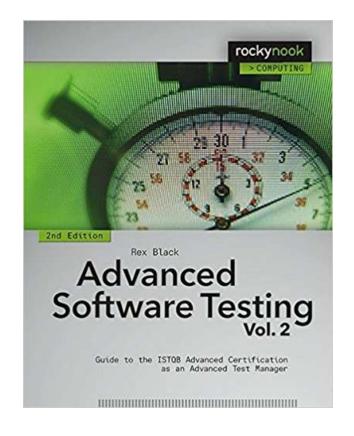


※ISTQB Overview October 2016 P.76より

1. セミナー開催の理由②

日本では、Advanced Level試験の学習を公式にサポートする資料が存在しない。





2. Advanced Level試験とは

2. Advanced Level試験とは

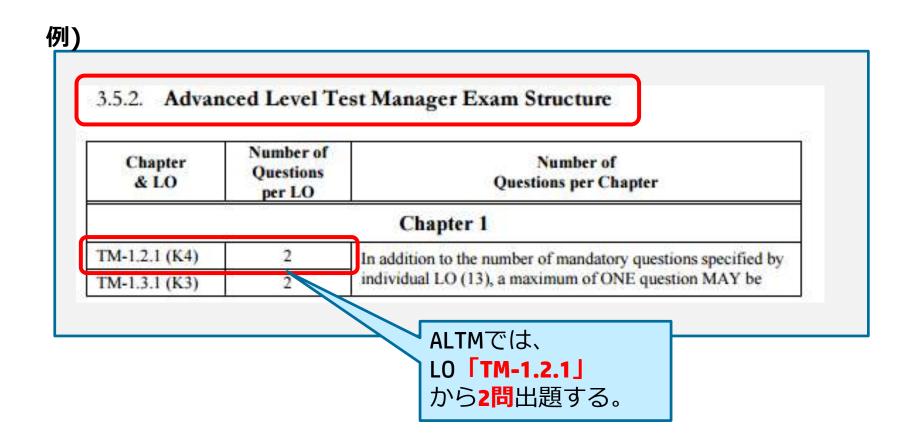
ISTQBのルールに則り試験を行っている。



http://www.istqb.org/downloads/send/17-advanced-level-exam-documents/92-istqb-2012-advanced-level-syllabi-exam-structure-and-rules.html

2. Advanced Level試験とは ~ISTQBのルール①~

資格種別ごとに学習の目的(LO)単位で何問出題するかがルール化されている。



学習の目的(LO)について

シラバスでは各章に学習の目的(LO)が明示されている。

1. テストプロセス - 420 分

用語

終了基準、テストケース、テスト終了作業、テスト条件、テストコントロール、テスト設計、テスト実行、テスト実装、テスト結果記録、テスト計画作業、テスト手順、テストスクリプト、テストサマリレポート

「テストプロセス」の学習の目的

1.2 テストの計画作業、モニタリング、およびコントロール

TM-1.2.1 (K4)システムのテストニーズを分析して、テスト目的を達成するテスト活動およびテスト成果物を 計画する。

1.3 テスト分析

- TM-1.3.1 (K3)トレーサビリティを確保し、テスト目的、テスト戦略、およびテスト計画に基づいて定義された テスト条件の完全性と一貫性をチェックする。
- TM-1.3.2 (K2)テスト条件を指定する詳細度に影響を与える可能性がある要因および、詳細にテスト条件を 指定することの長所と短所について説明する。

2. Advanced Level試験とは ~ISTQBのルール②~

Kレベル(知識レベル)ごとに配点基準が決まっている。

3.2.2. The points available for a question should reflect the difficulty of the question. A K2 question is to be allocated 1 point. In general, a K3 question should be allocated 2 points and a K4 question should be allocated 3 points. However, K3 questions may be set at 1, 2, or 3 points, and K4 questions may be set at 2 or 3 points at the discretion of the question author.

A more difficult question may require the examinee to have a deeper or more nuanced understanding of the crial. A less difficult question may be one where the answer is more straightforward.

Kレベル	基本配点	配点範囲
K2	1点	1点
K3	2点	1~3点
K4	3点	2~3点

Kレベル(知識レベル)について

K2:理解レベル

課題に関連する記述について理由または説明を選択することができ、テスト概念、 テスト手順(タスクの順番の説明)に関して要約、比較、分類、類別することが でき、テスト概念に関して例を挙げることができる。

K3:適用レベル

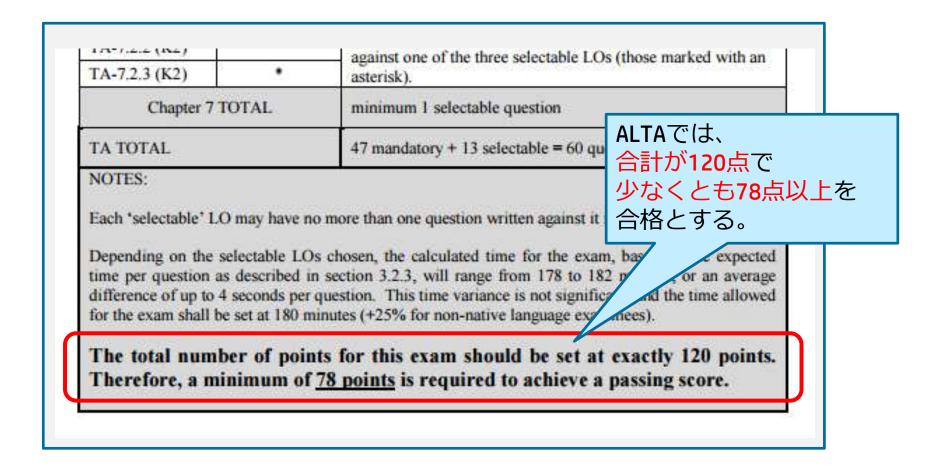
概念または技法を正しく選択することができ、それを特定の事例に適用すること ができる。

K4:分析レベル

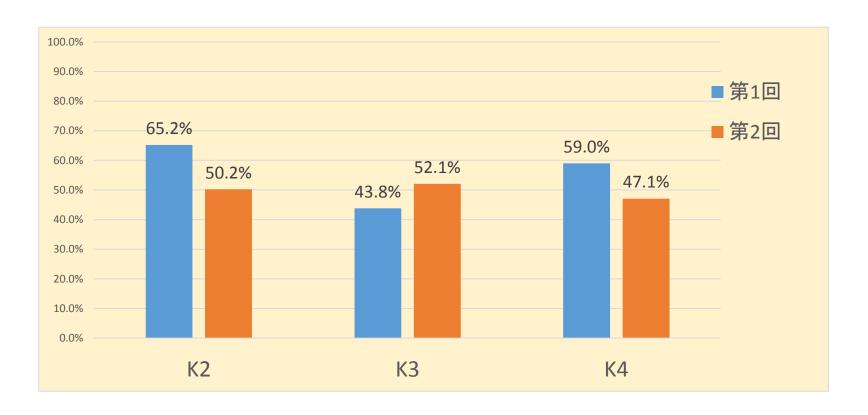
手順または技術に関連する情報を分類し、理解しやすくするため各部分に分割し構成することができる。同時に事実と推論を区別することができる。

2. Advanced Level試験とは ~ISTQBのルール③~

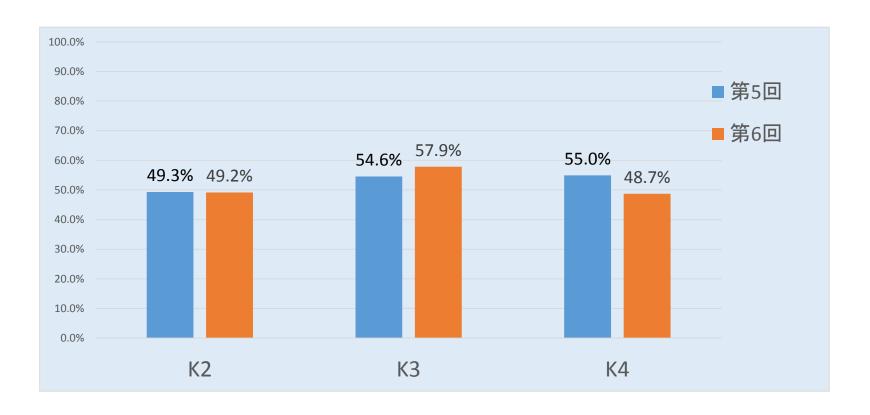
合格ラインが決められている。



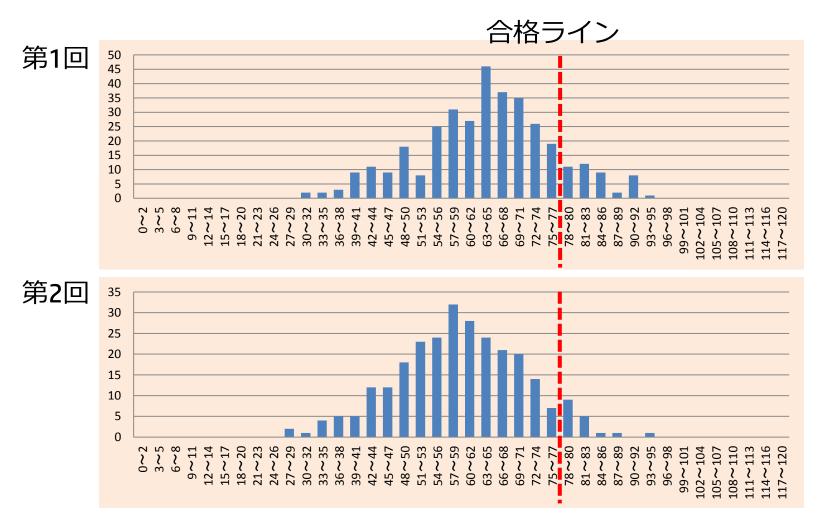
ALTA Kレベルごとの正解率(直近2回開催分)



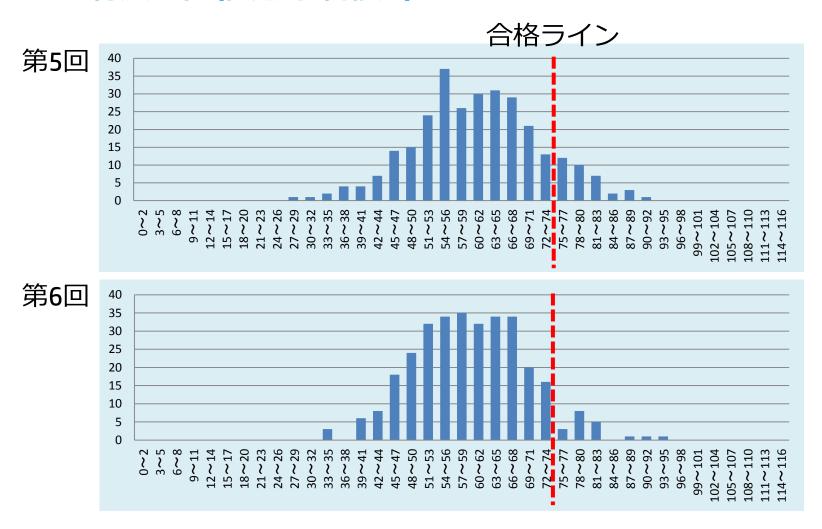
ALTM Kレベルごとの正解率(直近2回開催分)



ALTA 得点分布(直近2回開催分)



ALTM 得点分布(直近2回開催分)



4. 過去出題問題の解説について

ALTAとALTMのそれぞれについて

過去の試験で実際に出題した問題を解説します。

各Kレベルから1問、合計で3問を解説します。

4. 過去出題問題の解説について

次のことを意識しながら聞いてください。

シラバスのどこに注意して読み進めればよいか

試験問題をどう読み解けばよいか

どのような文献を使って学習すればよいか

CONTACT INFORMATION

JSTQB (Japan Software Testing Qualifications Board)

E-mail: query@jstqb.jp

*1:acceptable mail size is less than 50KB*2: Please understand that our response may take time

ありがとうございました